

第6回 生命科学研究科・ウイルス研究所 学生フェスティバル 概要

学生フェスティバルとは、京都大学大学院生命科学研究科とウイルス研究所の大学院生が中心となり、企画・運営する「学術交流会」です。学生が様々な分野の人と活発な議論を交わすことで、研究者間および研究室間の交流を広げ、専門分野・学年を超えた大きな研究ネットワークを形成することを目標として開催しています。

昨年度の第5回学生フェスティバルでは、59名の発表者と200人以上の方々にご来場いただくことができ、当日は活発な議論を行うことができました。また、新企画として開催した「学フェス ディスカッションリレー」では、参加者アンケートで好評を得ました。本フェスティバルの趣旨通り、研究分野にとらわれない自由な研究交流ができたと考えています。

研究室間でのさらなる交流および各人の研究室の発展を目指して、本年度も、下記要項に従い第6回学生フェスティバルを開催することに致しました。生命科学研究科・ウイルス研究所のみなさまからのご応募をお待ちしております。演題募集につきましては、別添えの募集要項をご確認ください。

- 【開催日時】 2010年11月1日（月）10:00-18:00
- 【場所】 時計台国際交流ホール
- 【発表形式】 口頭発表、ポスター発表、萌芽研究発表、ディスカッションリレー
- 【要旨受付締切】 2010年9月17日（金）
- 【要旨提出先】 gakufes_6th@lif.kyoto-u.ac.jp （藤本）
- 【ホームページ】 http://www.lif.kyoto-u.ac.jp/festival_6th/

【第6回 学生フェスティバルの目標】

第6回学生フェスティバルでは、「科学の雫 波打つ人の輪」をスローガンに掲げ、お互いの研究について議論し合うことをきっかけに、学生同士から博士以上の研究者までと交流の輪を広げていくことを目指しています。学生同士の横の繋がりに縦へ繋がりを加えることが、今まで見えなかった着眼点や大いなる刺激を得ることになると考えています。分野・学年の垣根を超え、新しい出会いの輪を広げることで、自身への研究活動のみならず、生命科学研究科およびウイルス研究所全体に対して、より良い研究環境を構築する一助となると考えています。

【企画内容】

第6回学生フェスティバルでは、口頭発表、ポスター発表、萌芽研究発表、そして学フェス・ディスカッションリレーを予定しております。萌芽研究発表は、始めたばかりの研究の方向性や現在の研究過程を発表する場となっています。現段階では発表できるデータが少ない方、これからの実験について他の人と議論してみたい方、ポスターとまではいなくても学会発表を試してみたい方、是非参加してみませんか。第5回では修士課程1年の方から博士課程の方まで幅広く発表をしていただきました。

学フェス・ディスカッションリレーでは、参加者全員を少人数のグループに分け、各グループ1人ずつ自分の研究について順番に発表し、発表内容についてグループ内で自由闊達に議論して頂きます。普段はあまり交流のできない異なる分野の研究者ともお互いの研究を理解し合うことで、専門分野を超えた研究者仲間を作って頂くことを目的としています。

ここでの発表の場は、プレゼンテーションスキルを向上させるだけでなく、自分の研究を客観的に考え、他の研究者と議論するチャンスです。今回の学生フェスティバルにおける交流が、参加者の今後の研究を発展させるための良い機会になればと思います。多数の方のご参加を心よりお待ちしております。

【実行委員】

青島（芦田研） 和泉（大野研） 岡原（小堤研） 岡本（松本研） 加藤（河内研）
川本（麻）（荒木研） 小林（増田研） 酒井（芦田研） 鈴木（芦田研） 清木（土方研）
高橋（藤田研） 津村（小柳研） 原田（井上研） 藤本（芦田研） 松井（荒木研） 三浦（根岸研）
宮田（藤田研） 弓立（増田研） 渡邊（芦田研）